平成３０年度　関東学生柔道体重別選手権大会（男子５７回　女子３１回）　大会要項

１．大 会 名 平成３０年度　関東学生柔道体重別選手権大会（男子５７回　女子３１回）

２．主　　催 （一社）全日本学生柔道連盟、関東学生柔道連盟

３．主　　管 関東学生柔道連盟

４．後　　援 関東柔道連合会、埼玉県柔道連盟

５．期　　間 ●１日目：８月２５日（土）　　　　　　　午前　８時　　　　開　　場

午前１０時３０分　開 会 式

　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　 　　　 午前１０時４５分　試合開始

　　　　 男子： 60Kg級、66Kg級、73Kg級、81Kg級

　　　　 女子： 70Kg級、78Kg級、78Kg超級

 ●２日目：８月２６日（日）　　　　　　　午前　８時　　　　開　　場

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　午前　９時３０分　試合開始

　　　　　　　　 男子： 90Kg級、100Kg級、100Kg超級

女子： 48Kg級、52Kg級、57Kg級、63㎏級

６．場　　所 埼玉県立武道館　上尾市日の出4－1877　　TEL 048-777-2400

７．競技規則 （１）参加資格

 ①（一社）全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ（公財）

全日本柔道連盟に登録済の者。

　　　　　　　　　 ②関東の国公私立大学または短期大学などに在籍の学生。

 ③在学中、実業団その他の職域チームに所属し、その大会（試合）に出場していない者。

　　　　　　　　　 ④**2年生においては1年次の修得単位数が20単位以上の者とし、3年生においては2年次までの修得単位数が40単位以上の者、4年生については3年次までの総修得単位数70単位以上の者とする。但し、特例措置対象者を除く。（詳細については「単位修得報告書」のシート「運用方法」を参照）**

 （２）試合方法

本大会は、両日ともに６試合場にてトーナメント方式で実施する。

 （３）審判規定

本大会は国際柔道連盟試合審判規定を準用する。試合運営上、審判員は１審制とする。

　　　　　　　（４）柔道衣

　　　　　　　　　　(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。

　　　　　　　　　　今年度は「青ラベル」の柔道衣は着用可とする。なお、選手全員が白柔道衣で紅白帯を用いる。（青色柔道衣は使用しない。）また女子については白線入り帯を着用すること。

 （５）ゼッケン

出場選手は必ず所定のゼッケンを柔道衣につけること。なおスポンサーゼッケン等、氏

名・所属以外のゼッケン入りの柔道衣は認めない。

８．出 場 枠　　（１）男子出場選手は、各階級の出場人数枠を**５名**以内とし、総数**３５名以内とする。**

　　　　　　 　 （２）女子出場選手は、各階級の出場人数枠を**４名**以内とし、総数**２８名以内とする。**

９．選手計量　　計量は各階級の原則として試合前日とする。ただしもう仕込み時、またはそれ以降に特別な理

由により当日計量を希望する選手は、所定の申請書類およびその理由を証明できるものを提出

し、認められた場合のみ許可する。

 場所：埼玉県立武道館1階サブ道場（男子）、第2会議室（女子）

　　　　　　　 　 １日目：２４日（金）　予備計量１７時３０分～、公式計量１８時００分～１８時３０分

２５日（土） 予備計量　８時００分～、公式計量　８時３０分～　９時００分

２日目：２５日（土）　予備計量１６時３０分～、公式計量１７時００分～１７時３０分

２６日（日）　予備計量　８時００分～、公式計量　８時３０分～　９時００分

10．表　彰　　（１）各階級３位（２名）までを表彰する。

（２）全日本学生体重別選手権への推薦について、男子は総数４８名とし、各階級への振り分け

は下記表とする。なお関東推薦選手については、各階級の配分枠内で充当する。（前年度全日本学生体重選手権大会優勝者及び準優勝者は、全日本学生柔道連盟より別途推薦される。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 60Kg級 | 66Kg級 | 73Kg級 | 81Kg級 | 90Kg級 | 100Kg級 | 100Kg超級 |
| 出 場 枠 | ７ | ６＋推薦 | ７ | ６＋推薦 | ７ | ７ | ６ |
| 全日本推薦選手 | 大島（筑波） |  | 石郷岡（筑波）野上（筑波） |  |  |  |  |
| 関東推薦選手 |  | 田川（筑波） |  | 佐々木（筑波） |  |  |  |

　 （３）男子については試合成績をポイント化して算出し、その上位8校を全日本学生柔道体重

別団体優勝大会（第１９回）に出場校として推薦する。算出方法を以下に記す。

　　　　　　　　　 各階級で所属の中の成績最優秀者を対象とし、一勝ごとに１点が加算される。また、ベス

ト１６で１点、ベスト８で２点、ベスト４で３点、準優勝で４点、優勝で５点が追加点

として加算される。推薦者がいる場合は優勝者と同じ点数配分とする。チームの合計点

数が同率である場合は、別に定める方法により順位を決定する。なお詳細は申込データ内

の「資料２）体重別団体pt配分」を参照のこと。

　　　　　　 （４）女子は３０名に２名（５７kg級・６３㎏級卒業生枠）を加えた総数３２名を推薦する。

各階級への振り分けは下記表とする。（各階級４名×７階級＝２８名）

残り２名分は、参加選手の多い階級に１名ずつ加え（**抽選会終了後に決定**）、卒業生枠

については、当該階級に振り分ける。（前年度全日本学生体重別選手権大会優勝者及び準

優勝者は、全日本学生柔道連盟より別途推薦される。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 48Kg級 | 52Kg級 | 57Kg級 | 63Kg級 | 70Kg級 | 78Kg級 | 78Kg超級 |
| 出 場 枠 | ４ | ４ | ４＋１ | ４＋１ | ４ | ４ | ４ |
| 全日本推薦選手 |  | 岡本（淑徳） |  | 佐藤（山院） | 新添（山院） | 泉（山院） |  |
| 関東推薦選手 |  |  |  |  |  |  |  |

　　※）男女とも以下の大会で２位以内の成績を収めた者は、関東学生柔道連盟より選手として推薦する。但し、

 推薦選手数が出場枠を越えた場合には、全体の出場枠の見直しを行うことがある。

　　　　　　　 　　 　H２９年度　グランドスラム５大会、講道館杯

　　　　　　　 　　 　H３０年度　全日本選抜体重別

11．審判員及び審判講習会

 　　　　 審判員は総勢**４２名**とし、（公財）全日本柔道連盟公認審判員ライセンス保持者を各大学に

最高３名まで依頼する。なお８月２５日（土）午前９時より埼玉県立武道館第１会議室にお

いて審判講習会及び審判員会議を実施する。

12．参加申込　　（１）申込先　関東学生柔道連盟ホームページより、大会参加申込書をダウンロードして必要

事項（抽選基準に照らし合わせ前年度の実績が該当する選手は必ず記載）を入力し、以下の

メールアドレスへ送信する。なお、事務局から確認のメールが届かない場合は、再度メール

にて連絡のこと。

　　　　　　　　　 　**sakiyama@jiu.ac.jp** 関東学生柔道連盟事務局　秋山修一

 （２）申込締切日 **平成３０年８月１日（水）正午必着** ※期限厳守のこと

 （３）申込方法 別紙所定の参加申込用紙による

 （４）参加費 選手１名につき２０００円（保険料含む）とする。各大学は、参加選手の参加

費をとりまとめて８月１日（月）までに下記口座へ必ず大学名で振り込むこと。尚、振

込の確認が出来ない場合には、本大会への参加は認められない。

 　　 〈振込先〉　横浜銀行 野庭支店 普通 ５０３０２２６　関東学生柔道連盟

 （５）選手変更 選手変更は、参加申込をしている選手が負傷欠場する場合のみ、医師による

診断書（欠場する選手のもの）を提出することによって認める。締切は、大会当日の代

表者会議終了時までとする。

13．組み合わせ ８月５日（日）１１時より、講道館新館2階教室において関東学生柔道連盟役員立ち会いの

もと、抽選により行う。尚、各大学関係者の立ち会いは自由とする。

14．代表者会議 代表者会議を８月２４日（金）午後５時３０分から埼玉県立武道館第１会議室において行う。各

大学代表者1名が必ず参加のこと。試合上の注意事項の伝達、プログラムの配布等を行うので必

ず参加すること。参加が確認できない場合、本大会への出場を認めないことがある。

15．事故処置 主催者は、大会出場選手の傷害に対して、傷害保険に加入し、負傷の際には応急処置施すが、

それ以外の責任は負わない。尚、選手は、当日保険証（コピー不可）を持参すること。

16．大会事務局 〒283-8555

　　　　　　　　　 　 千葉県東金市求名（ぐみょう）1番地

　　　　　　　　　　　城西国際大学内　関東学生柔道連盟事務局　担当　秋山修一

　　　　　　　　　　 TEL　 ：0475－55－8800（大学代表）

　　　　　　　　　　 E-mail ：sakiyama@jiu.ac.jp

17．そ　の　他

《弁当斡旋について》

　　　　　　　　　　　事務局にて弁当の斡旋を行う。希望する大学は、大会申込データ内の「弁当注文」シー

トに必要事項を入力し、申込に併せ提出すること。注文数の変更は、原則として抽選

当日までとする。料金については当日徴収するため、釣銭の無いよう準備すること。

また、ゴミ処理や飲食マナーなど、各大学において注意事項を遵守するよう徹底すること。

《皮膚真菌症について》

　　　　　　　　　　　皮膚真菌症（トンズランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任におい

　　　　　　　　　　　て必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速

　　　　　　　　　　　に医療機関において的確な治療を行う。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、

　　　　　　　　　　　大会への出場を禁止する。（ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場

　　　　　　　　　　　を認める）

《脳震盪について》

大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得

ること。なお大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可

とする。（至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）

 　　練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

 　　当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出する

こと。

18．事務連絡　＜会場設営・撤収の協力について＞

　　　　　　　　　　 8月24日（金）17時より会場設営、大会終了後には撤収作業を行いますので、参加大

学の協力をお願いします。なお大会終了後に理事会を開催している関係で、理事・事務

局は撤収作業にあたれませんので、引率の先生方におかれましては指示出しなど担当頂

きますよう、ご協力をお願いします。

　　　　　　　＜個人情報の取扱いについて＞

 提出された単位取得報告書については、関東学生柔道連盟事務局が大会参加資格の確

　　　　　　　　　　 認以外に利用することはありません。また、関東学生柔道連盟事務局内にて厳重に管

　　　　　　　　　　 理をいたします。

以　上